namco®

エレメカ大百科



CONTENTS

もくじ

namco®

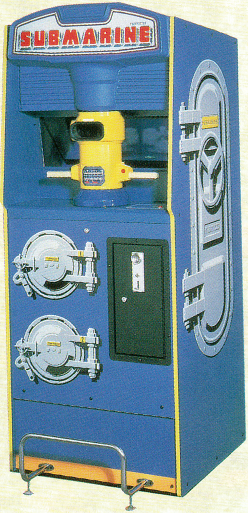
エレメカ大百科



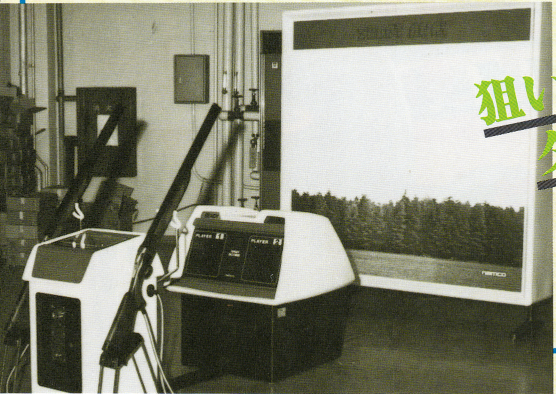
プレイ魂を揺さぶるサウンドが集まった！

これが収録エレメカだ!!

サブマリン



気分はまさに
Uボートか!?



狙いすまして
ターゲットをLOCK！

シュータウェイ



さんすう道場



キミの
計算力に
挑戦！

ウッシャー



おかしの大将！

おかし大作戦



Mr.プロレス



殴るか!?
殴られるか!?

ポカスカ探検隊

ほーれそこのあなた！
あんたじゃよ!!
ちょっと試していかんかね



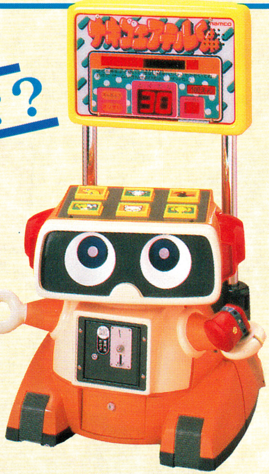
功夫老師



おやつどっさり
甘～い誘惑

スウィートランド

今度の鳴き声
なんだろな？



ナキゴエ
アテルくん

たべちゃうぞぉ〜





ナンダヨ
ウルセーナ
ケケケケ

ワギャン

ワニワニパニック



ラッコちゃんの
おやつだ〜いすき！

いただきま〜す♡

アレ〜

アレ〜

野郎ども
盗んで
こいっ



コズモギャングズ



いたずら
ゴーストを
やっつけろ!!

ゴーリーゴースト

ブルちゃんの
もっとたべたいワン！



何か
食わせてくれ～



八卦方士

ワザの速さが
勝負を決める！

今日も
イタズラ
ガンバロウ！



カニカニパニック

叩け！
たたけ!!
タタケ〜〜〜!!!

コズモポリス
アンタッチャ





いたずらゴースト
今度は海底に
登場なのだっ！

バブルトラブル



ボタン早押し選手権

LET'S PLAY !

LET'S PLAY!!



ダンク＆ダンク

ゾンビキャッスル



キャー 助けてー

サメサメパニック



デカい景品が
取りたいゾ〜



ニュースウィートファクトリー



かかって
きなさい！

ドドンガドン

ちゃんと退治
せんと 血イ
吸うゾ〜〜！



モスキート
アタック

ママといっしょで
ゴキゲンだぞう



おっきなゾウさん

おいしい
アイスクリームは
いかがですか〜？



アイスクリームやさん

カタログは


namco
CARNIVAL
カーニバル
トリプルワープで 大当り
パックマンがメタルゲームになって新登場!!
先立つものは 肉体 だし
CATCHINGER
ゼロ・イン
ZERO IN
namco
ZERO IN
WARNING
ウルトラガン
売上倍増絶対保証!!
サーティテスト
30 TEST
THIRTY TEST

歴史を語る。



チラシの山の中に、見え隠れしているものは何だろう。当時の時代背景か、売り文句やイラスト、オブジェクトに光るスタッフのセンスか。あるいは「このゲームをやってくれ！」という、作り手の魂の叫びだろうか。キミはこれらをガッチリ受け止めることができるか!?（収録エレメカのチラシは18頁以降に紹介しているぞ！）

ぜ〜んぶ持ってたらスゴすぎ！

プライズマシン

グッズ大集合

コズモ軍団



ぬいぐるみ



塩ビ人形

ティンクルピット



ぬいぐるみ

どこのお店でも手に入らない！　プライズマシンで取るしかない!! そんな景品の数々を集めてみた。いずれもナムコのエレメカやビデオゲームで人気のキャラクターばかり。お気に入りゲームの思い出を、こういう形で取っておくのもオツなもんかもね。これからも続々登場の予定なので見逃すなよ！

ゴーリーゴースト



ぬいぐるみ

リッジレーサー



ぬいぐるみ

ワルキューレの伝説



ジグソーパズル

鉄拳シリーズ



マグネットステッカー

ジグソーパズル
（鉄拳）



マグカップ





ジグソーパズル
（鉄拳２）

開発スタッフコメントつき！

CD収録エレメカのすべて



1 アイスクリームやさん

●1990年リリース

前年４月に発売された乗り物『ばーがーしょっぷ』に続いて登場した姉妹機がこれ。幼児なら最高４人まで乗ることができる。車内には数々のギミックがついており、アイスクリーム屋さんごっこが楽しめるようになっているのが大きな特徴。

同年７月には第３弾『パンやさん』も発売されている。

開発者コメント

乗り物に乗った子供と外にいるお母さんが、アイスクリーム屋での売り買いのやりとりができると楽しいだろうと考え企画した。いかに冷たそうな、おいしそうなアイスクリームにするか、とデザイナーと食べ歩きした、お腹の痛い情報収集が思い出。



アイスクリーム屋さんの気分が楽しく味わえるのだ▲

2 おかし大作戦

●1981年リリース



▲チラシの上に写真が貼ってあったのだ

モグラ叩き系ゲームのロングセラー。

穴から顔を出す「ピョコタン」を、ハンマーで次々に叩いていく。

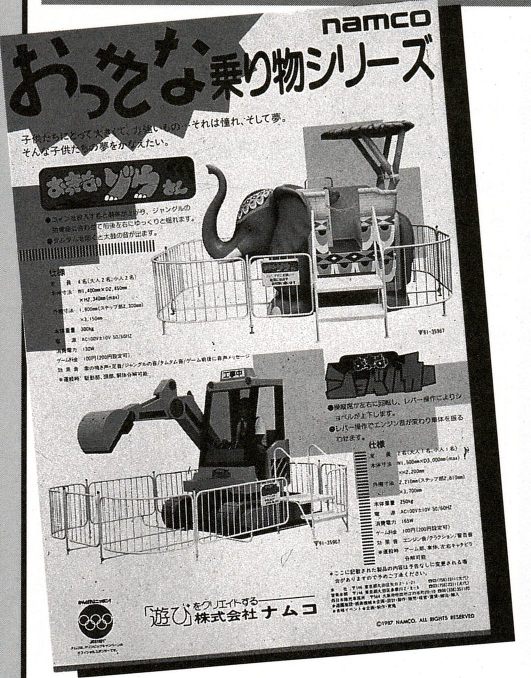
制限時間内に40点を突破するとタイムが15秒延長され、ピョコタンが顔を出すサイクルがとたんに速くなる。一度に何匹も出てくることもあり、片手ハンマーだけではついていけず、両手で応戦する人もよく見受けられた。

開発者コメント

自分でつけた「ピョコタン」という叩かれるキャラクターの名前が、かわいくて良いと思っている。ハンマーで叩くと、ピョコタンの頭がだんだんはげてくるのがかわいそうだった。しかし「商売、商売」と言い聞かせて、がんばってもらった。

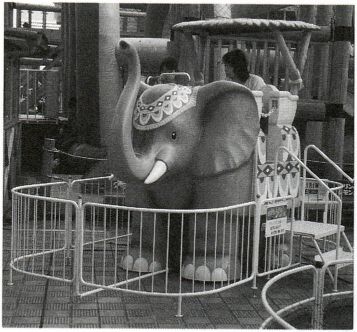
3 おっきなゾウさん

●1987年リリース



▲カタログでは『ショベルカー』と一緒に紹介されている

子供向けの乗り物、おっきなシリーズ第１弾。小児なら４人まで乗りこむことができる。シートの手前に音の出る「タムタム」がついている。



開発者コメント

子供が泣かないリアル感を出したかった。歩く動きと、音の一体感、驚きと楽しさを求めた音作りだった。

4 カニカニパニック

●1992年リリース

いたずら好きの横移動する４匹のカニを、ハンマーで叩いてこらしめる「パニック」シリーズ第２弾の叩き物ゲーム。

カニは４段のラインを左右に移動しているのだが、上２段には真ん中に障害があって、カニを叩きにくくしている。

制限時間内に40点を突破すれば、時間延長だ。左右からいっぺんに出てくるカニどもを、ハンマーで殴りまくれ！　ちなみに『ワニワニパニック』と違って、減点システムはない。



たった４匹とはいえ、動きの速さは侮れない！▲

開発者コメント

こういうシンプルなゲームは飽きがなく、売り上げも安定しているので、「カニだけに売り上げも横ばい」と噂された。

また、玩具化もされている。

5 功夫老師

●1987年リリース



▲老師のイラストだけでも十分インパクトがあるが……!?

「ほーれそこのあなた、あんたじゃよ！ちょっと試していかんかね」というデモのボイスで有名なマシン。「マエ・ウシロ・ヒダリ・ミギ」という老師のかけ声の通りに、ボタン（前後左右）を押す。だんだん速くなるかけ声に、キミはどこまでついていけるか。

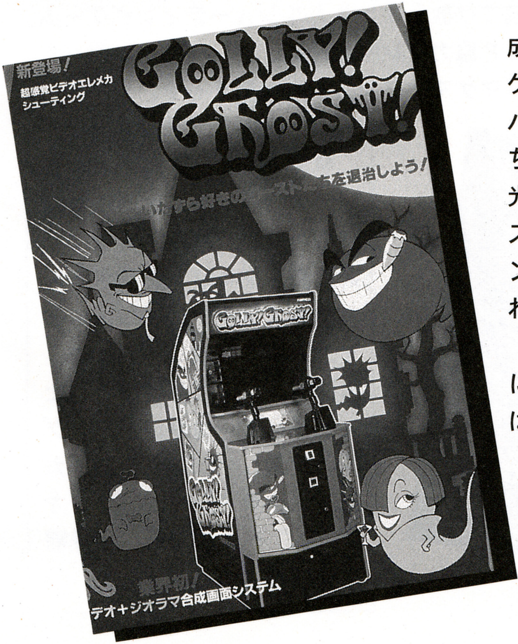
規定点クリアで次のレベルへ。全部で5段階あり、オールクリアで免許皆伝となる。スコアと同時に、プレイヤーの反応速度とそのアベレージも表示される。

開発者コメント

本機は身体測定装置の開発途中でスピンアウトしたものである。当時副次的な扱いであった音声をゲーム要素の1つとして扱ったのは本機が初めてである。またアトラクト中に「呼びこみ」を行わせたことも本機が初めてであった。

6 ゴーリーゴースト

●1991年リリース



ビデオ映像とジオラマをハーフミラーで合成させて、ゴーストをリアルに表現したガンゲーム。ジオラマの扉やトイレのフタがパカパカ開いて、そこからとめどなくゴーストたちが湧いてくる。プレイヤーはプラズマ分解光線銃（ZAPPER）なる武器を持って、ゴーストを退治していく……というゲーム。ラウンドごとに規定得点があり、これをクリアすれば次のラウンドへ進める。

ちなみにプレイヤーには１ＰにZAP、２ＰにZIPという名前が付いていたが、ゲームには直接登場しない。

開発者コメント

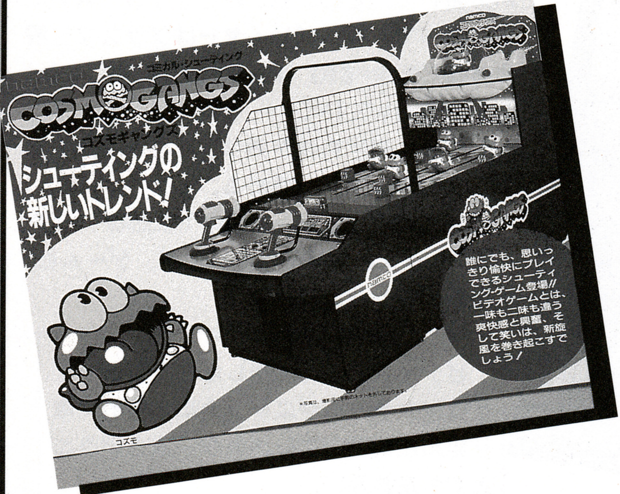
ビデオＰＣＢを使用したこともあって、サウンドチームがエレメカに本格的に取り組んだ最初のエレメカゲームということでも意義深い。

▲ゴーストといってもジメっぽくなくて、カラッとアメリカン

7 コズモギャングズ

●1990年リリース

エネルギーコンテナを盗もうとする、「宇宙盗賊団コズモギャングズ」を光線銃でけ散らすコミカルシューティングゲーム。２Ｐ協力プレイも可能。プレイヤーが勝つと「マケマケダンス」を披露するぞ。



開発者コメント

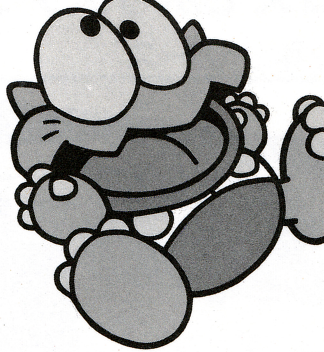
今までにない、進化したエレメカマシンを、という意欲のもと演出、機構、デザイン共に凝りまくり、結果ダンスも踊るエンターテインメントマシンへと完成していった。当時ゴブリンと名付けられたキャラクターは宇宙ギャングへと変化し、その後、エレメカ“ドドンガドン”や“ビデオゲーム”へと展開し、世界観を広げることとなった。

▲筐体の全長はかなり長い。敵は攻撃が当たると「アレ～」と後退するぞ

●コズモギャングズとは!?●

その昔にコズモ星から追われ、宇宙要塞アンコクに本拠地を置く、ドンコズモ率いる「宇宙盗賊団コズモギャングズ」。ヤツらは宇宙最大の商業惑星アーキンドの首都ジガゴを縄張りに宇宙一の犯罪王となるべく、悪事を重ねていった。そんな噂を聞きつけた宇宙の悪漢どもも集まってきて、コズモギャングズの勢力はメチャンコ大きなものとなっていった。

コズモ星にあるコズモポリス本部もこの事態を重く見て、コズモギャングズを撲滅するためにコズモポリス本部長直轄の特別部隊「アンタッチャ」を密かに組織した。かくして、「コズモギャングズ」と「アンタッチャ」の勇気と感動と笑いの壮大かつ、みみっちいストーリーが展開するのであった……!?



●関連ゲームいろいろ●

●コズモギャング　ザ　ビデオ

（アーケード／1992年３月）

（ＳＦＣ／1992年10月）

●コズモギャング　ザ　パズル

（アーケード／1992年11月）

（ＳＦＣ／1993年３月）

8 コズモポリスアンタッチャ

●1992年リリース



コズモポリスの乗る「パトビート」をレバーによって操作し、「ビッグハンド」を避けながら、宇宙盗賊団コズモギャングズに体当たりしてやっつける子供用プライズゲーム。一定時間内に高得点を獲得すると景品がもらえる。

開発者コメント

コズモギャングズをやっつけるには……と考えた。光線銃か…ハリセンか…と頭をフル回転させた結果、ジャン!! 体当たりに決定。設計時や専用景品のことなど、いろいろ苦労したが、今となっては良い思い出に……。

コズモワールドよろしくネ!!

▲「アンタッチャチーム」の初のメジャーデビュー作!?

9 サブマリン

●1978年リリース



▲ブルーが基調の筐体に、黄色い潜望鏡が映えるデザイン

潜望鏡のファインダーをのぞき、敵艦に狙いを定めて撃破するシューティングゲーム。海面やそこに浮かぶ敵艦の描写は、当時としては画期的な技術として、多くの注目を集めた。ちなみに同年10月、ナムコビデオゲーム第１号『ジービー』が発売されている。

開発者コメント

潜水艦ゲームを作ろうと決まった瞬間、脳裏に浮かんだビジュアルイメージは、きわめて映画的なリアリティと迫力に満ちたものだった。そのイメージは、当時黎明期にあったビデオゲームの未来像と確実にオーバーラップしていた。

ともあれ夢が先行し、そのイメージ通りを無謀にも機械仕掛けで実現してしまったのがこのマシンである。のちに、歴史的大ヒット作となった。

10 サメサメパニック

●1994年リリース

『ワニワニ』『カニカニ』に続く、「パニック」シリーズの第3弾。我がもの顔で海を泳ぎ回るサメたちを、ハンマーで退治するゲーム。叩くマトであるサメがデカいのが特徴。玩具化されている。

開発者コメント

従来のカワイイキャラクターのノリからもう少しハードヒットしたくなる対象は何か？ と検討した結果の、うってつけのキャラクターである。何分、限られたスペースの中でいかに「らしさ」を表現するかで苦労した。キャラクターも従来のものよりかなり大きくして、叩きがいがあるものとなった。

実際のサメ漁で本当に棍棒でサメの頭をたたく漁があることを知ったのは、試作品完成後であった。



サメの表情も多彩で楽しい！◀

11 さんすう道場

●1981年リリース



▲まさにでっかい電卓。背景のロボットが謎めいている

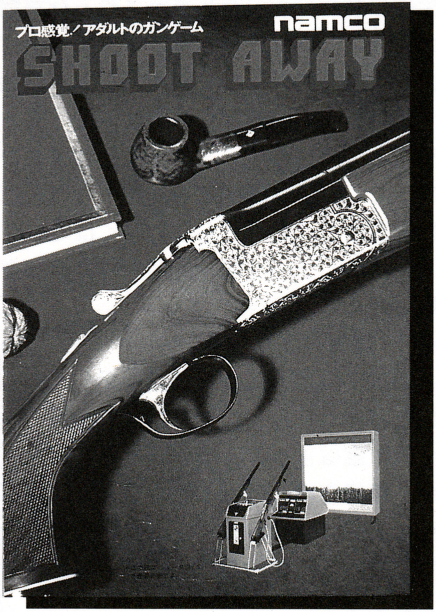
筐体の前面にデジタル表示される計算問題の答えを、ハンマーで数字キーを叩いて入力し、何問解けたかを競うゲーム。問題は、足し算・引き算はもちろん、掛け算・割り算も出題される。１＋１とか２×３とかいった、簡単な問題ばかり出てくれればいいんだけど、実際そんなに甘くはない。56÷14とか、26＋37などといった、２ケタ問題もアリだ。

開発者コメント

遊びに来た人に計算問題を出す！いわばタブーともいえるネタに挑戦。元の企画はまったく別ものだったのだが、開発申請が通って予算を取ってから、上司に提案して平気で内容を変えてしまった。技術スタッフの皆さんゴメンナサイ。

12 シュータウェイ

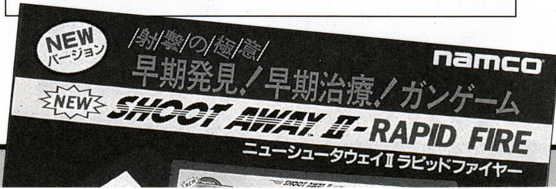
●1977年リリース



画面にクレーをミラーで投影し、それをライフルで撃つガンゲーム。クレーはコースを変え、徐々にスピードアップし、難易度が上がっていく。ズッシリとした銃の手応えや音は、アダルト感がある。ちなみに翌年10月、アップライトタイプの『クレイチャンプ』が発売されている。

開発者コメント

ゲームシステムも、光学的メカ機構も「これ以上簡略化はできない」ところまで追求した。しかし、そこに至るまで、技術屋心情的にはきわめて難しい注文であり、葛藤があった。これからも技術者は技術的贅肉を見極める能力も必要となろう。技術は裏に隠れ、人間的温かさが表に出るような製品作りを心がけたい。



▲アダルトな雰囲気のチラシ
▶『ラピッドファイア』の粋なコピー

13 スウィートランド

●1986年リリース



▲マシンの中のお菓子はキャンディなどの小物が主体

お菓子などの景品をクレーンですくうゲームは昔からあったが、これはその進化型。まず、クレーンでお菓子をすくい上げて、タイミング良くすぐ下のテーブルに落とす。２段構えのテクニックが必要で、①ボタンですくい上げに失敗すると、②ボタンがまるで無意味になる。ちなみに揺すって落とすなどは言語道断（TILTになるぞ！）。

開発者コメント

ショベルで景品をすくうだけのゲームは従来からあったが、さらにスライドテーブルに乗せてから落とすことを加えたゲーム。スライドテーブルに今にも取れそうな景品があると、ついつい何度もゲームをしてしまう。

ロケテストの時に、老夫婦が２人だけで熱中する姿を見た時はうれしかった。

次ページへつづく▷



▲後に『2』も発売されいずれも大人気

これはテーブルの拡大写真。上のテーブルに、すくった景品を落とす。メダル落としゲームと同じ要領、と言えばわかりやすいだろうか？



こちらNewバージョン

メンテナンス部分など改良が加えられている。

▷13つづき

14 ゾンビキャッスル

●1993年リリース



▲ブキミに闇に浮かぶゾンビと古城の怪物が恐怖感をあおる！

助けを求めるプリンセスを「魔の手」から守るため、コルドーラというボスゾンビの分身である城のあちこちから出現するゾンビたちを、必殺ウェポン「エクトキャノン」を使って退治するゲーム。毎秒4発という発射速度を誇るエクトキャノンだけに爽快感はバツグンだが、的ゾンビやお城はたまったものではない!!

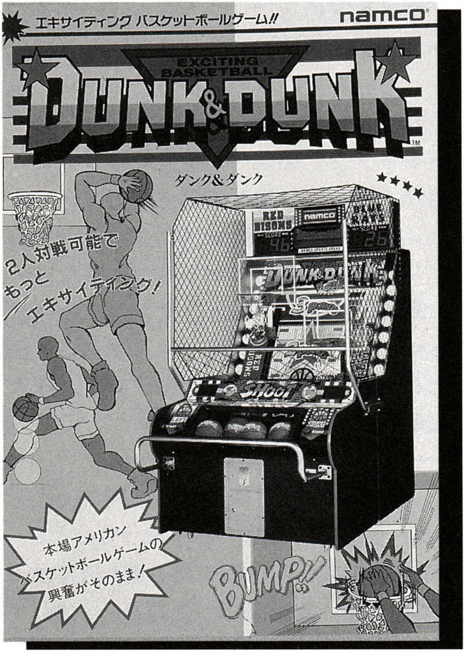
見事「魔の手」からプリンセスを守り抜くと、15秒間のパニックステージへ進める。絶え間なく出現するゾンビの猛攻に耐えることができるかな？

開発者コメント

試作期間中、プリンセスの「キャーッ」という悲鳴が頻繁に試作室（ちなみに住宅街にある）付近で鳴り響いていたはずだが、大丈夫だったのだろうか？

15 ダンク＆ダンク

●1993年リリース



▲シンプルかつエキサイティング。上面の電光表示もハデだ

２人対戦用のバスケットボールシュートゲーム。シュートの成否によってリングが上下に移動するのがポイント。

とにかく制限時間内に次々にシュートを叩きこめ。シュートを決めるごとに、リングの高さが徐々にアップし、最高３ポイントゾーンまで上がる。ここでのシュート成功が、高得点のカギだ。逆に決まらないとリングが下がっていき、－２ポイントゾーンへ入ってしまうぞ！

開発者コメント

実際にバスケットボールに興じていた私（企画者）は、「アメリカ人のようにダンクを決めたい！」と日頃から思っていた。それが企画の発端であった。

16 ドドンガドン

●1994年リリース

左右に激しく移動する怪獣ドドンガドンのヘソに、５個のズドーンバクダンをぶつけまくるゲームである。ズドーンバクダンはレールにつながっており、ボーリングのような動作で発射する。通信機能を搭載しており、２台で対戦プレイも可能。

30点以上で時間延長、動きもトリッキーになるのだが、それまでのように１個ずつ狙って当てていては到底追いつけない。本気で立ち向かうのなら、もはや汗ダクは覚悟すべきだろう。まさに「体汗ゲーム」と言っていい。

開発者コメント

怪獣の声には、怪獣のような体型の某課長の声をサンプリングして使用。みごとに怪獣の声を再現している。





目標がデカいので燃える！▶

17 ナキゴエアテルくん

●1987年リリース



▲写真つきのチラシ。小ぶりなデザインがかわいい

音楽と共に6種類の動物の鳴き声が流れ、プレイヤーはその鳴き声の動物が描かれたボタンをハンマーで叩く、ロボットの形をした小型のゲーム機。タイトルがゲーム内容そのまんまで明快だ。

出題される動物の種類は、イヌ、ネコ、ゾウ、カラスなど。時間内に一定の得点をマークすると、プレイ時間が延長される。もちろん、出題のサイクルも速くなってくるのだ。

特にスーパーやデパートのゲームコーナーなどに多く設置され、親子連れの客の注目を集めていた。

開発者コメント

文字が読めない小さな子供でも楽しめるゲームで、ロケテスト時に母親が子供に動物の名前を教えながらゲームをする姿は微笑ましいものがあった。

18 ニュースウィートファクトリー

●1994年リリース

〈未発表曲〉



▲箱タイプのお菓子でもラクラク入るのが大きな特徴

回転するターンテーブル上の景品をクレーンですくって、スライドテーブルに乗せて、スライドテーブルの押し出しによって景品を落下、獲得に導くゲーム。ボタンアクションは１回になっている。

開発者コメント

当社にはスウィートランドという、お菓子をクレーンですくってためて落下、獲得するプライズゲームがあるが、景品の寸法が限られており、もっとデッカイ景品が取りたいというテーマに対する回答である。

シンプルな構造すぎて、本当に景品が取れるのか？という意見が社内で多かったが、実際の新製品発表のショーで景品補充にテンヤワンヤとなり、それ以後、この話題には誰も触れない。

19 八卦方士

●1990年リリース



▲筐体のデザインも基本的には前作を受け継いだ形になっている

Ｐ22で紹介した『功夫老師』の続編シリーズ。前作では「音」が勝負のポイントになっていたのに対し、こちらは「光」での勝負になっている。

８方向から来る光を、レバーとボタンを使って跳ね返すのだ。一定スコアをクリアすると、次のレベルに進む。もちろんレベルが上がるごとに、光のスピードはどんどんアップしていくぞ。

開発者コメント

本機は「功夫老師」シリーズ第２弾として開発された。神経衰弱をモチーフとした第３弾のゲームも同時発売の予定であったが、諸事情で本機のみ発売となった。その第３弾のゲームは、現在参考機種として倉庫に眠っている。

20 バブルトラブル

●1992年リリース



シューティングゲーム『ゴーリーゴースト』の第2弾。海底に逃亡し、イタズラを重ねるゴーストたちをやっつけていくゲーム。ゴーリーゴーストのキャラクターはもちろんのこと、サメ、水おばけなど、多彩な海のゴーストたちが出てくる。

開発者コメント

ゴーリーゴーストが、シンプルに“モグラ退治的なビデオゲーム”としてまとまっていたので、ゴーリーゴーストの設定を活かしつつ、もっと愉快にしたいと思って制作した。ゴーリーゴーストのキャラクター以外に、海の中で何をおばけにするかが苦労した。

▲ゴーリーゴーストたちはボーナスキャラで登場してたのだ

21 ブルちゃんのもっとたべたいワン！

●1991年リリース



▲チラシ内のイラストは筐体の上乗せ看板にも使われている

お腹をすかして口をパクパクさせながら、左右に身体を動かしているブルドッグにピンポン玉（えさ）を飛ばし、食べさせる子供用プライズゲーム。一定時間内に6個食べさせることができたら景品がもらえる！

実はこのゲームのテーマ曲には、歌詞があったって知ってた？(右を見てね)

開発者コメント

社内でも人気（ちまたでは？）のこの歌は、単純で、口ずさみたくなるような歌ということで、高度のテクニックを持ったプロのミュージシャンには手伝ってもらわず、企画者みずから風呂場で鍛えた作曲センス（？）を駆使して制作を行った（鼻歌を録音しただけ）。

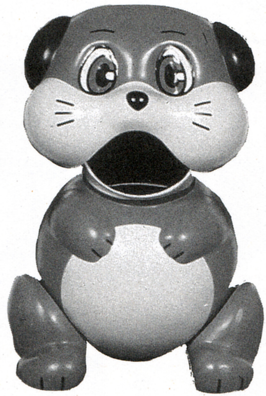
ワンだブル!! —挿入歌—



1．ワン　ワン　ワン　ワン　ワンだブル
僕は腹ぺこ　ブルドッグ
アイスに　キャンディー　チョコレート～
もっと食べたいワン!!

2．ワン　ワン　ワン　ワン　ワンだブル
僕の名前は　ブル太郎
アイ　ラブ　ユー　ラブ　ビスケット～
もっと食べたいワン!!

3．ワン　ワン　ワン　ワン　ワンだブル
僕は夢見る　ブルドッグ
明日は　何を　食べよかなぁ～
もっと食べたい　もっと食べたい
もっと食べたいワン!!



22 ポカスカ探検隊

●1985年リリース



2人対戦型のコミカルゲーム。プレイヤーはゴリラと探検家に分かれ、それぞれがハンマーボタンとヘルメットボタンを操作することにより、ゴリラと探検家の人形がハンマーで叩いたり、ヘルメットで防御したりする。



開発者コメント

企画段階では、ゴリラとターザンをキャラクターとして使いたかったが、版権の問題で探検家になった。

▲殴るか殴られるかのサバイバルバトルなのだっ！

23 ボタン早押し選手権

●1992年リリース



▲最新テクノロジー（？）での勝負。でも判定は古典的なところがいい

２人対戦型ゲームで、プレイヤーは向かい合わせに立って、ひたすらにボタンを叩き続ける。中央のタワーのゲージを先に満杯（12回分）にしたほうが勝ち。

敗者には、容赦なくハンマーが打ち下ろされる単純明快かつエキサイティングな内容で、イベントなどでも大活躍！

ちなみにこの後姉妹商品として『空気早入れ選手権』も発売。こちらはポンプでひたすら空気を入れ続けるという内容である。

開発者コメント

本機の開発は、そのゲームの斬新さと同じように、その年の新入社員のみで行われた画期的なものであった（チーフのみ新入社員ではない）。発売後、ＴＶ媒体の露出度も高く、売り上げ以外にも貢献をしている名機である。



▲「隠されたスポーツHAYAOSHI」とある

24 Mr.プロレス

●1983年リリース



▲腕相撲ゲームがプロレスになったらこういう形になった!?

マシンを相手に行う力比べゲーム。制限時間内に両腕を広げられれば勝ち。

まずは「練習」で腕ならしをしてから、挑戦レベルを選んで本番に挑戦。最高レベルはその名も「キングコング」といい、並大抵の腕力では勝つことはできず、２人がかりでもかなりつらかった。

開発者コメント

プロレスで手と手をガッチリ組み、互いに相手をねじ伏せようとする 力強さがテーマ。開発当初、板面に描かれていたレスラーは、当時流行ったレスリングマンガの主人公のキャラクターだった。ウッシャー！

25 モスキートアタック

●1994年リリース



▲ターゲットの蚊はけっこうデカイ。退治にも熱が入る！

草むらから出現してくる巨大な蚊軍団を強力殺虫光線銃で撃ち落とすエレメカシューティングゲーム。敵はKASS(1点)が3匹、BOSS(2点)2匹。攻撃が当たると「何でやねん」「おかーちゃーん」などと叫んで落ちていく。蚊の鼻の頭（？）が全部赤くなると血を「吸われた！」ことになり、手前の血液メーターが0になるとゲームオーバー。

開発者コメント

設定は南米のジャングル奥地。なのに音声はなぜか関西弁。その共通項はいかに……。キーワードはラテン系であった。モスキートのキャラクターは、薄暗いほど映えてくる蛍光剤入り！　でも最近のロケーションって、結構明るいからわかんないかも。この蚊のキャラクターは、メンバー内でも大人気！

26 ラッコちゃんのおやつだ〜いすき

●1989年リリース



▲ジャンボなラッコちゃんが子供を引きつけるのだ！

立体的なラッコキャラクターがゲームの進行に合わせて演出を行う、ルーレット式プライズマシン。姉妹商品に『ひつじちゃんのドキドキピクニック』(1989 年 10月発売）などがあり、現在まで人気シリーズとして続いている。

開発者コメント

当時のプライズマシンは、小さなカプセルが主流であり、中に、どーでもいいような玩具しか入ってなかった。そこで子供の視点になって徹底的に企画を見つめた。そして、今まで採用されていない子供になじむキャラクターと大型カプセル、中には、お菓子を入れたという、当時としては画期的な製品(!?)となった。以来このシリーズは『ゴジラシリーズ』まで継続することとなる。

27 ワギャン

●1987年リリース



▲大怪獣のごとき迫力を出すワギャンのチラシ。人類はメガホンで応戦!?

オリに入った体長 30cmの怪獣に、メガホンで大声をぶつけるという、単純明快なストレス解消ゲーム。これでもかというくらいの声で圧倒すると、ワギャンはビビってひっくり返る。逆に声が小さいとケラケラ笑い、挑発的なセリフをプレイヤーに返してくる。のちにゲームソフトにも進出し、人気キャラクターに。ワギャン恐るべし。

開発者コメント

声の大きさ×発声時間＝ボイスパワー

ボイスパワーは「ワッ！」と短く叫ぶより「ワーッ！」と息を吐ききるように叫ぶほど破壊力が大きい。日本ではまだ数匹の生存が目撃されている。街でＣＤに収録されているような鳴き声を耳にしたら、ヤツらが巨大化して暴れ出さないうちに諸君のボイスパワーで倒してほしい。

次ページへつづく▷

録音メモ

朝霧に包まれた砂浜。島の中央部、活火山を目指して原始林に踏み入ると、ワギャンたちのさえずりが木々にこだましている。日本語にも聞こえる挑発的な鳴き声だ。ワギャンは、数百万年前、隕石とともに飛来した地球外生物である。体長 30 cm、ダークグリーンの装甲外皮は、核攻撃にも耐えるという。人類絶滅後は、このせせら笑いが地球上を支配するのであろうか。（1987年 3 月 1 日／絶海の孤島「大怒島」にて現地収録）

●ワギャン関連ゲームソフト●

●ワギャンランド（FC／1989）
●ワギャンランド 2（FC／1990）
●ワギャンランド 3（FC／1992）
●スーパーワギャンランド（SFC／1991）
●スーパーワギャンランド 2（SFC／1993）
●ワギャンランド（GG／1991）
●ワギャンパラダイス（SFC／1994）
●ナムコミュージアム Vol.3（PS／1996）
〈スコアを記録するところに、エレメカワギャンがいる〉



▶このオリの中のヤツを
ひっくり返せ！

▷27つづき

28 ワニワニパニック

●1989年リリース



▲ターゲットが上下するのではなく、前に出てくる点でも斬新

叩き物シリーズ「○○パニック」の第1弾。穴から次々に顔を出す5匹のワニをハンマーで叩くのだが、叩きそこねて一定ラインを越されると、かまれたことになり減点される。ワニを叩くと「イテッ」、かみつくと「バクッ」としゃべる。ミニサイズの玩具も発売された。

開発者コメント

朝、トイレで思いついて、会社に行くなり打ち合わせ。その日の夕方には企画書を仕上げ、上司に提案するが反応イマイチ。仕方ないので段ボールと動物スリッパで再度プレゼン。これがうけました。こだわったのがワニの口。どうしてもパクパクしたい！　だって人間に迫ってくるんだもの……。

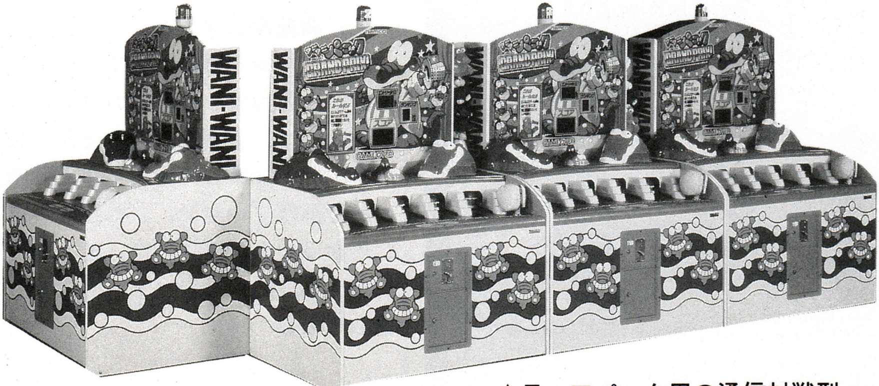
次ページへつづく▷

必殺のワニ叩き!?

エクステンド後の猛攻に備え、硬貨を入れたら、まず姿勢を正そう。足は肩幅に開き、ハンマーは柄のところではなく、ヘッドの部分を持つ。そして、ワニが全身を見せるまで待たず、顔が出はじめたら、すかさず叩くべし!! 叩くべし!! 叩くべし!!

心構えは、単に遊ぶというより、戦いを挑むつもりで。Fightだ!!

こっちはグランプリ版！



▲テーマパーク用の通信対戦型。
先に規定点に達した人が勝ちだ！

▷28つづき

エレメカキャラ軍団ズラリ

キャラクターセレクション

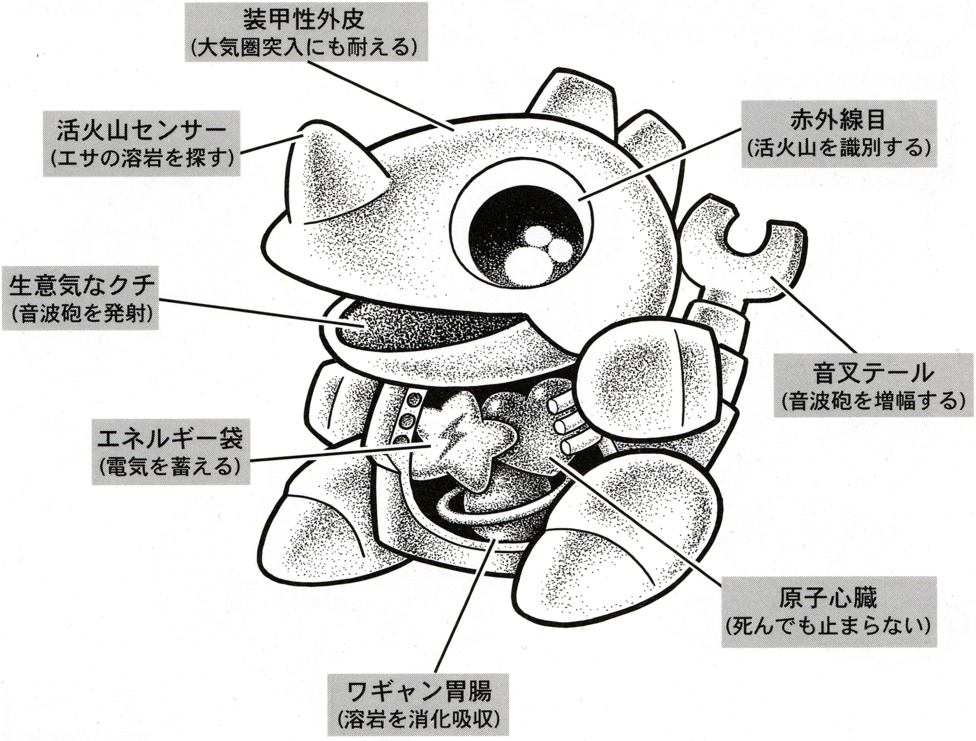
ワギャン™

エレメカより生を受け、ゲームソフトにまで進出した謎の怪獣。我々はこの生物に関する極秘資料の入手に成功した。以下はその生態並びに体内構造について述べたものである。

ワギャンの生物学的資料（抜粋）

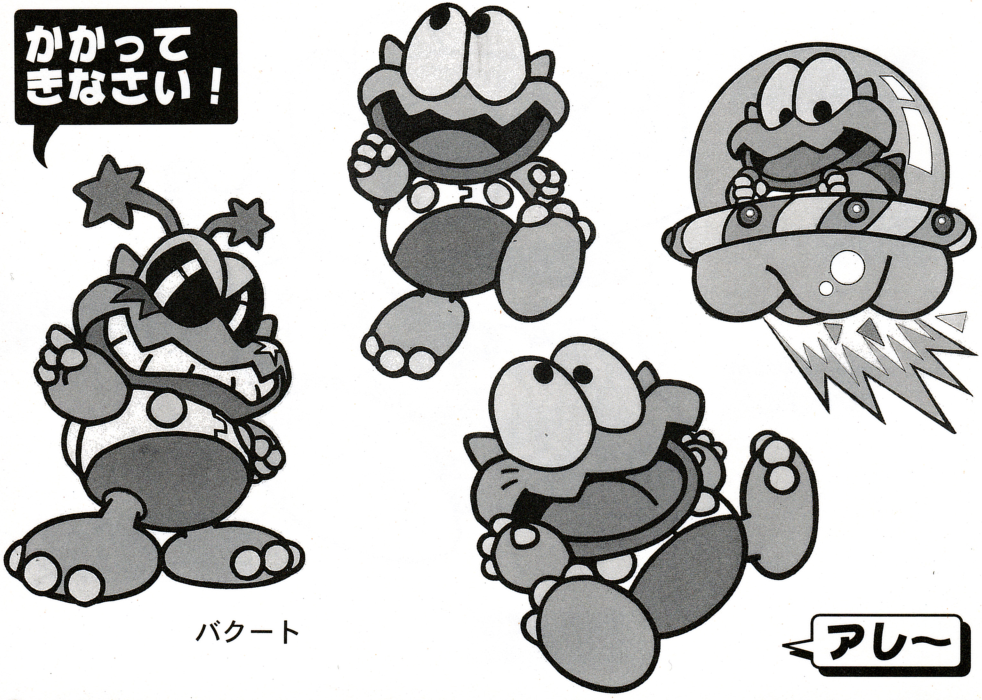
学名	サイパ·サウンドラ·アタック·メッサ (Psypa-Soundra-Attack-Messa)
生息地	約 200万年前、南海の孤島「大怒島」(おおどしま) に隕石が激突した衝撃で火山噴火が起こり、隕石内部に閉じこめられていたワギャンの卵がマグマの熱でふ化、繁殖する。
摂食行動	地球外鉱石「ヘビーメタル」及び、活火山から噴出する高熱の溶岩を常食とする。また、電気を体内に蓄えてエネルギー源にし、結晶化したダイアモンドのふんをする。ＳＦで言うところの「ケイ素性生物」の疑いが濃い。
形態	大気圏突入にも耐えうる装甲性外皮を持ち、核戦争後の地球にはワギャンとゴキブリだけが生き残ると言われている。 ふ化したときの平均体長は約 7 cm で、30cmまでは順調に成育するが、体内に蓄積したエネルギーが臨界点を越えると、ビッグバンを起こし、約 150m に巨大化する。(P47図版参照)
習性	日本語の響きに似た鳴き声を発する。人間を小馬鹿にしたような言葉にも聞こえるが、意味は不明。尾は音叉構造をしており、増幅された鳴き声が音波砲となって建造物等を破壊することがある（この原理を応用したサウンド兵器が音声銃ワギャナイザー)。帰巣本能が強く、飼育実験中の個体が鋼鉄製のオリを食い破って脱走し、大怒島まで泳ぎきったという記録がある。

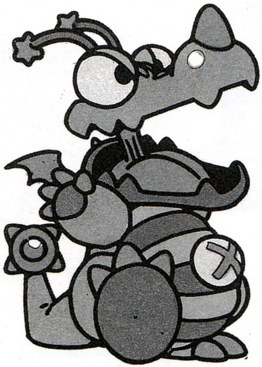
地球外生物ワギャンの体内構造



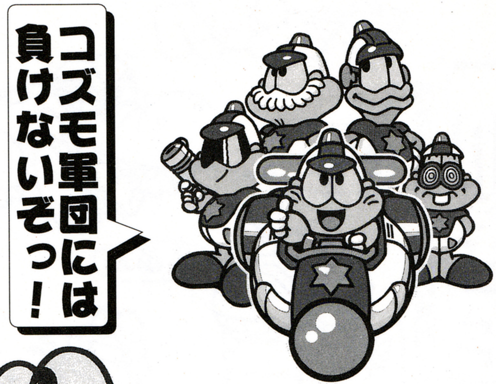
COSMO GANGS™

こちらも、エレメカからビデオゲームにまで進出したコズモギャングズ。アンタッチャチームとの激しい戦いはいつまで続くのか？表情も豊富でユニークなのだっ!!

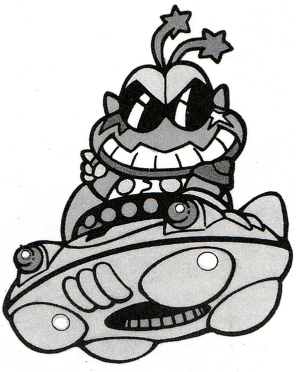


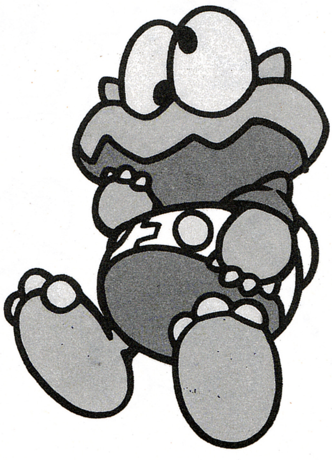


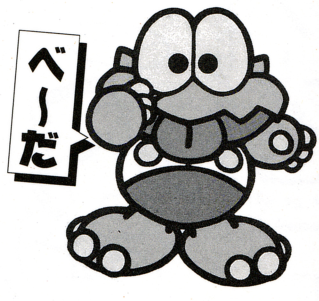
ドドンガドン



アンタッチャチーム

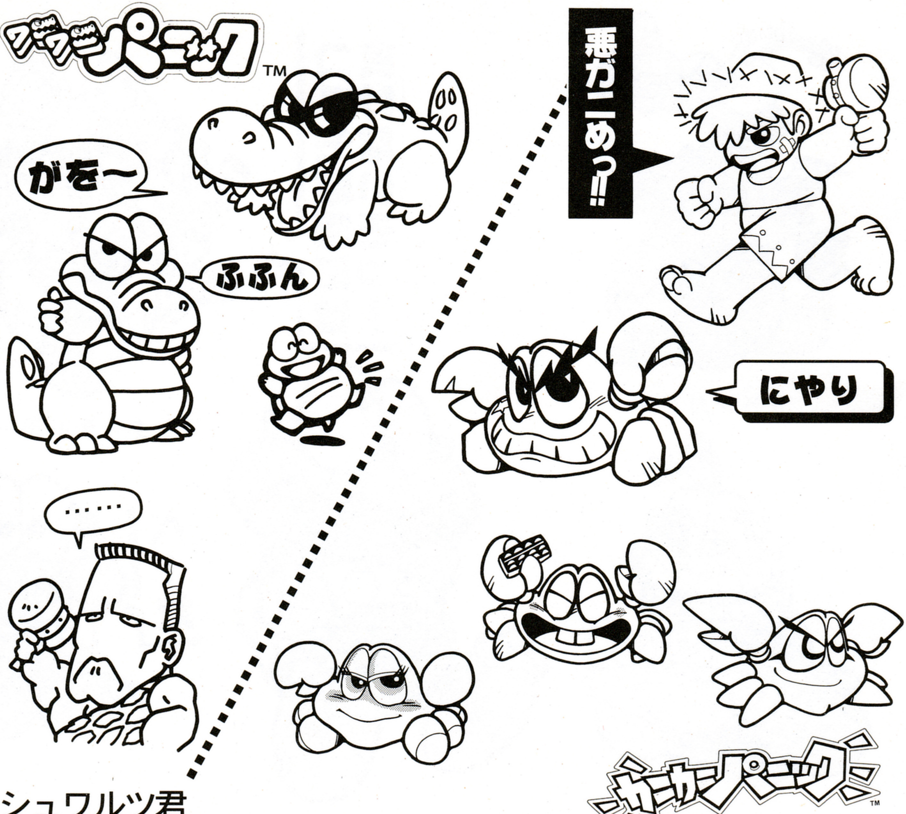




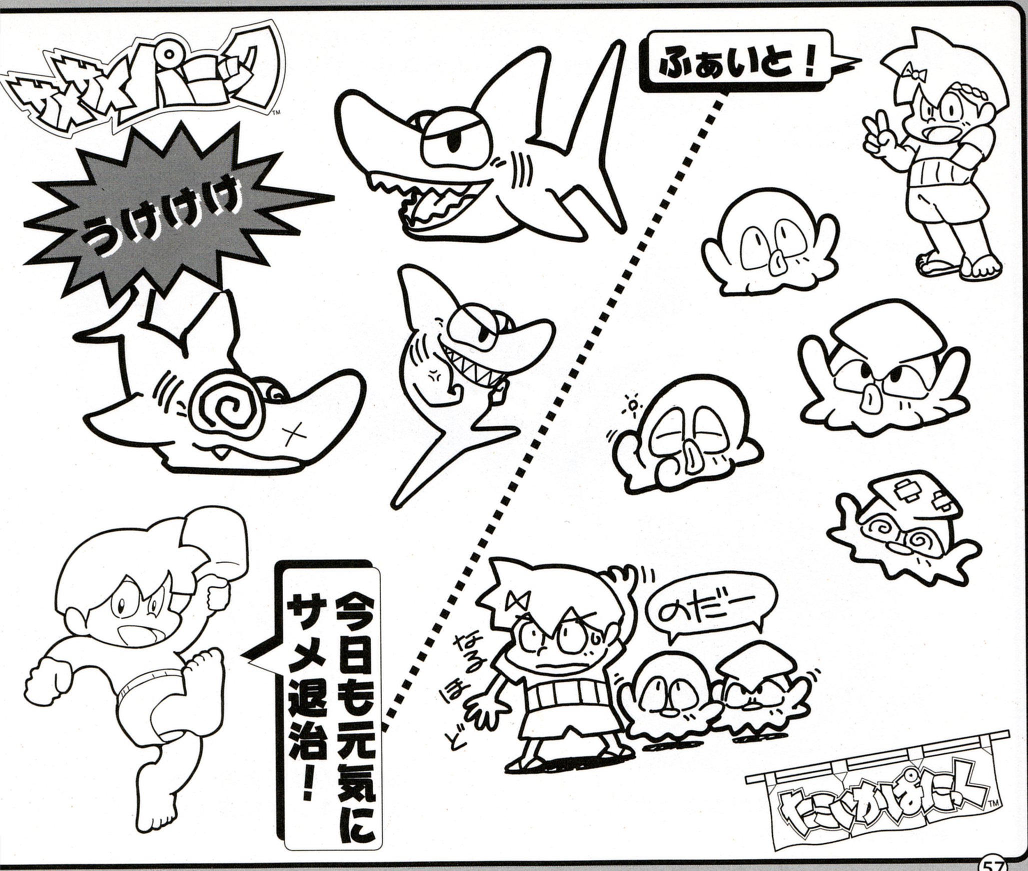


叩きモノ大会

叩き役と叩かれ役の攻防。モノは変われど歴史は続く！



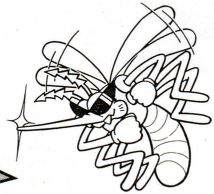
シュワルツ君


ふぁいと！
うけけけ
今日も元気に
サメ退治！
のだー
なるほど
たこいかぱにっく

その他

ガンシューティングものでも、イラストのインパクトはかなり大きい。キャラを見ただけでゲームが浮かんでくるかな？









背後にそびえる城が実は大ボス。
名前はコルドーラ



囚われのサイカ姫。実はハイキングに来ていた少女

エレメカが元気をくれた日

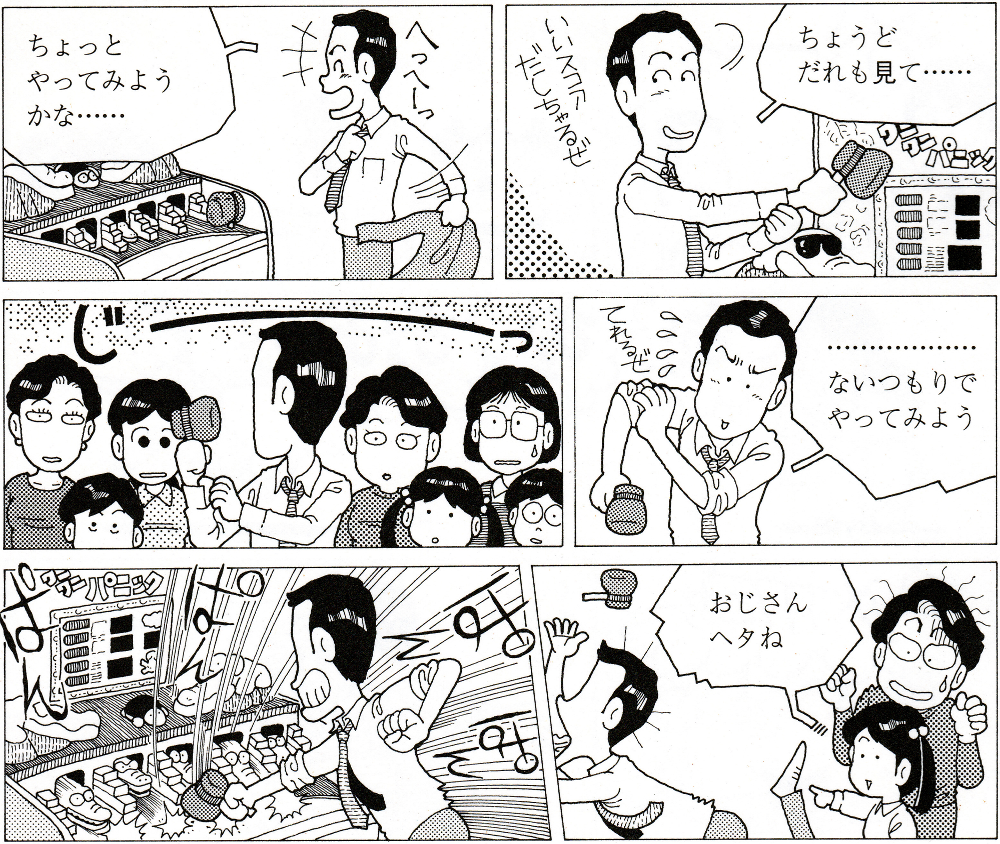
画・江頭 剛





あ〜
何だァ
この企画はっ
何度でも
やりなおせっ
くっそおー〜っ
あっと
床を叩くと
手が痛いから
やめよう
ところで
ここはどこ？
ナムコ
デパートの
おくじょーだよ
これっ
いくわよっ
はやくっ
ぱくっ
知らない間に
こんなところに
来てたのか……
つかれてる
オレはさっ

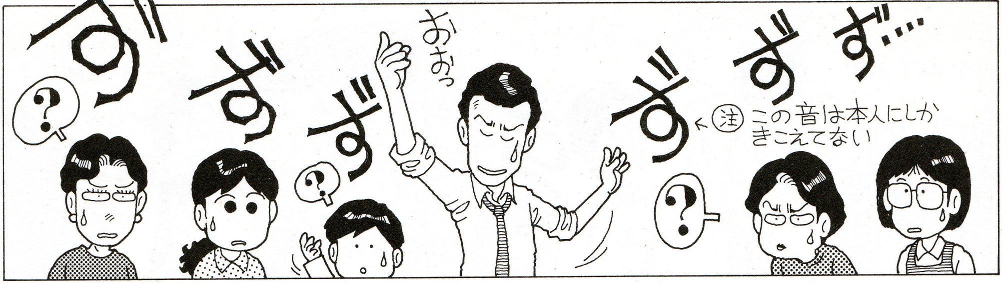

おーっ
うちの子に
ヘンなことしないでっ！
ママっ
ボクを
タテに
しないでっ…
おっ おっ おおっ
エレメカだあーっ
くーっ
なつかしい
なあ
ガキのころ
夢中で
やったっけ
おおっ


ちょっと
やってみよう
かな……
へっへーっ
いいスコア
だしちゃるぜ
ちょうど
だれも見て……
じ————っ
てれるぜ
……………
ないつもりで
やってみよう
おじさん
ヘタね



企画はうまくいかないわ
ガキにはバカにされるわ
もう…………
うう
うぅぅ
くーーっ
ぐっ゛お゛っ
コレはどーだ
し大作戦
いけえっ
MARINE
ガチャガチャガチャ
おりゃおりゃあ


今度は
コレだ！
どうしたのかしら
さあ
そうか
オレは
忘れて
たぞ
そうだ
ガキのころ
「メゲない
カズちゃん」
「コリない
カズちゃん」と
呼ばれていた
ことを——！
パッパッパーン


ずずずずずずず…
おおっ
?
?
?
㊟この音は本人にしかきこえてない


元気が大波に乗ってやってくるゥ
元気
どどーん


エレメカよっ
ナムコよっ
ありがとう！
ひしっ!!
Mr.プロレス
オレは
がんばる！
すた すた
ママ？
あのヒトなあに
さあ……
ママにも
わからないけど
エレメカで
元気になっちゃった
ヒトかしらね!?

おわり

エレメカデータ館

- ●ナムコエレメカ全リスト
- ●ナムコエレメカ歴史年表
- ●㊟エレメカ稼働店リスト

ナムコエレメカ全リスト (五十音順)

1995年までに発売されたエレメカと、その発売年を五十音順に表記した。
備考欄のマークは、□:エレメカ、△:ロボット、■:乗り物、☆:遊技施設を表す。

	製品名	発売年	備考
あ	アイスクリームやさん	1990	■
	アクアマチックガン	1968	□
	アドベンチャーシアターシステム	1992	☆
	アトマⅠ・Ⅱ・Ⅲ	1980	△
	アヒル	1974	■
	アメリカンアーケードシリーズ　ジャスト7	1993	□
	アメリカンアーケードシリーズ　フットボール	1993	□
	アメリカンアーケードシリーズ　ボールポーカー	1993	□
	アンドロイドピエロ	1975	△
い	イーグルゴー	1969	□
	一打逆転	1984	□
う	うて! うて!! ゴジラ	1993	□
	ウルトラガン	1967	□
え	X-DAY	1994	□
	X-DAY2	1995	□
	F-1	1976	□
	F-1マッハ	1977	□
お	お絵描きロボット	1984	△
	おかし大作戦	1981	□
	おかしのきしゃ	1987	■
	おそ松くんダービー	1965	□
	おっきなショベルカー	1988	■
	おっきなゾウさん	1987	■
	おっきなフォークリフト	1990	■

	製品名	発売年	備考
お	オバQ	1965	■
か	海賊島トレジャーランド	1975	□
	海底要塞	1968	□
	回転自動車	1967	■
	カードダービー	1973	□
	カニカニパニック	1992	□
	カーニバルⅠ	1987	□
	カーニバルⅡスーパーゼビウス	1987	□
	カーニバルⅡ妖怪道中記	1988	□
	カーニバルⅢファミリースタジアム	1988	□
	カーニバルⅣワルキューレの冒険	1989	□
	カーニバルⅤウイニングラン	1989	□
	カーニバルⅥワニワニパニック	1991	□
	カーニバルワゴンウェイブボール	1991	□
	カーニバルワゴンナイスオンシェフ	1991	□
	カーニバルワゴンハートリングバート	1992	□
	カーニバルワゴンラッキーモンキー	1991	□
	カプセリア	1971	☆
	カプセルゴルフ	1988	□
	カプセルサッカー	1989	□
	ガムデルガン	1967	□
	カールおじさん	1979	△
	功夫老師	1987	□
き	キャッチンガーZ	1995	□

	製品名	発売年	備考
く	空気早入れ選手権	1995	□
	グランプリ	1968	□
	クレイチャンプ	1978	□
	クレージーバギー	1972	□
け	激突ゴジラVSキングギドラ	1994	□
こ	ゴジラウォーズ	1994	□
	コズモギャングズ	1990	□
	コスモスワット	1984	□
	コスモ星丸	1983	☆
	コズモポリスアンタッチャ	1992	□
	ゴーリーゴースト	1991	□
	コロレット	1968	□
さ	サーカスジム	1969	☆
	ささぶねパンダ	1974	■
	サーティテスト	1970	□
	サブマリン	1978	□
	サメサメパニック	1994	□
	さんすう道場	1981	□
	サンダユウ	1981	△
し	シーソー	1965	■
	シャッフルゲーム	1969	□
	シャーマンX	1979	■
	ジャンケンマシン	1965	□
	ジャンボゴジラ	1995	■
	ジャンボドラえもん	1980	■
	ジャンボロボコン	1975	■
	シュータウェイ	1977	□

	製品名	発売年	備考
し	シュータウェイII	1992	□
	消防車	1970	■
	ショーレビュー	1991	□
	新幹線ひかり号	1970	■
す	スウィートファクトリー	1992	□
	スウィートランド	1986	□
	スウィートランド2	1994	□
	スターレット	1970	□
	スタンプキティ	1982	△
	スタンプパンダ	1975	△
	スタンプロボット	1975	△
	スパイラルボール	1971	□
	スペースシャトルN-7	1978	■
	スポーツカー	1974	■
	スワン	1974	■
せ	ゼロイン	1979	□
	ゼロセン	1971	□
	ゼロファイター	1968	□
そ	ゾンビキャッスル	1993	□
た	大東京ロープウェイ	1967	☆
	タイムショック	1970	□
	たくはいバン	1988	■
	たこいかぱにっく	1995	□
	たたかえ！ メカゴジラ	1995	□
	ダックス	1973	■
	ダンク＆ダンク	1993	□
	ダンシングロボット	1969	☆

	製品名	発売年	備考
た	ダンボ	1968	■
ち	ちびまる子ちゃんえんそくバス	1991	■
	ちびまる子ちゃんみんなあそぼう	1991	□
	チャレンジャー	1966	□
て	テンカウント	1988	□
	デンジャラスバー	1995	□
	電話ロボット	1974	△
と	動物園	1988	■
	Dr.スランプアラレちゃん	1981	■
	ドッキングアポロ	1969	□
	ドドンガドン	1994	□
	ドラえもんタイムマシン	1981	■
	トラヒゲ	1966	■
	ドームシミュレーション	1972	☆
	ドリフトキング	1993	☆
	ドロンパ	1966	■
	ドンガバチョ	1966	■
な	ナキゴエアテルくん	1987	□
	ナバロンの要塞	1966	□
	ナムコンII	1978	■
に	ニャームコ	1980	△
	ニューシュータウェイIIラピッドファイア	1994	□
	ニュースウィートファクトリー	1994	□
	ニュースウィートランド	1991	□
の	ノックダウン	1981	□
	ノックダウン'90	1991	□
	ノボット	1981	△

	製品名	発売年	備考
は	バーガーショップ	1989	■
	バズーカ砲	1967	☆
	八卦方士	1990	□
	バッティングチャンス	1980	□
	ハッピーデート	1988	□
	バーディーパット	1982	□
	パトロールカー	1970	■
	バブルトラブル	1992	□
	パラパラボックスおぼっちゃまくん	1992	□
	パラパラボックスおれは直角	1992	□
	パラパラボックスチロリン村物語	1992	□
	パラパラボックストップストライカー	1992	□
	パラパラボックス丸出だめ夫	1992	□
	バルジ大作戦	1968	□
	ハローキティマイスクール	1982	■
	ハローキティマイバルーン	1982	■
	ハローキティマイボート	1982	■
	パンダのトラック	1987	■
	パンチンパイレーツ	1995	□
	バンビ	1968	■
	パンフレットこぞう	1985	△
	パンフレットロボット	1974	△
	パンフレットロボット（新）	1984	△
	パンやさん	1990	■
ひ	ピクパク	1984	△
	飛行塔	1967	☆
	ビッグフット	1989	■

	製品名	発売年	備考
ひ	ピッコロピッコロ	1974	□
	ひつじちゃんのドキドキピクニック	1989	□
	ピッチイン	1979	□
	ピッチイン２剛球伝説	1994	□
	ビニロボ	1985	△
	ピュータン	1981	△
	ヒューマノイド	1975	△
	ヒヨコ	1974	■
	ビンゴレット	1972	□
ふ	ファイヤーカーニバル	1968	□
	フォーミュラX	1973	□
	ブラックホール	1989	□
	ブルちゃんのもっとたべたいワン！	1991	□
	フルフェイス聖徳太子	1974	□
	フルフェイス天才バカボン	1974	□
	フルフェイスマイハニー	1974	□
	フルフェイスマジンガーZ	1974	□
	フレンチカンカン	1966	□
へ	ペリスコープ	1965	□
	ペリスコープ（新）	1966	□
ほ	ポカスカ探検隊	1985	□
	ボタン早押し選手権	1992	□
	ホットボールホッケー	1983	□
	ポニードリル	1989	■
	ポルシェN	1988	■
	ボールバズーカシャーク船長を倒せ	1992	☆
ま	マクセルくん	1980	△

	製品名	発売年	備考
ま	マッピー	1981	△
み	Mr. プロレス	1983	□
	ミッキー	1968	■
	ミニコンピュータ	1970	□
	ミニスリラー館	1972	☆
む	ムーンチャイルド	1981	△
も	モスキートアタック	1994	□
	モノサイクル	1969	■
	モノサイクル（新）	1973	■
ら	ライオン	1966	■
	ラッコちゃんのおやつだ〜いすき	1989	□
	ラルゴ	1981	△
り	リンカーン	1975	△
れ	レーサー	1970	□
ろ	ロイヤルロボット	1967	△
	ローイングマシン	1969	☆
	ロードウェイライド	1967	■
	ロボコンエース	1976	■
	ロボサッカー	1986	□
	ロボットサーカス	1978	△
	ロボットシアター	1981	△
わ	ワギャン	1987	□
	ワニワニパニック	1989	□
	ワニワニパニックグランプリ	1991	□
	ワニワニパニックスペシャル	1990	□
	ワールドマップ	1969	☆

ナムコエレメカ歴史年表

1995年までに発売されたエレメカを年代順に表記した。
併せて、同年に発売のビデオゲームと業界の動きも掲載してある。

年	製品名	ビデオゲーム	業界の主な動き
1965	●ジャンケンマシン ●ペリスコープ ●オバQ ●シーソー ●おそ松くんダービー		
1966	●ペリスコープ(新) ●ドロンパ ●トラヒゲ ●ドンガバチョ ●ライオン ●チャレンジャー ●ナバロンの要塞 ●フレンチカンカン		
1967	●回転自動車 ●バズーカ砲 ●ウルトラガン ●ロードウェイライド ●ロイヤルロボット ●ガムデルガン ●大東京ロープウェイ ●飛行塔		
1968	●海底要塞 ●バルジ大作戦 ●ファイヤーカーニバル ●グランプリ ●コロレット ●ダンボ ●アクアマチックガン ●バンビ ●ミッキー ●ゼロファイター		
1969	●モノサイクル ●ドッキングアポロ ●シャッフルゲーム ●サーカスジム ●ワールドマップ ●ダンシングロボット ●イーグルゴー ●ローイングマシン		
1970	●スターレット ●ミニコンピュータ ●消防車 ●新幹線ひかり号 ●タイムショック ●パトロールカー ●サーティテスト ●レーサー		●大阪万博開催
1971	●カプセリア ●ゼロセン ●スパイラルボール		
1972	●ビンゴレット ●クレージーバギー ●ミニスリラー館 ●ドリームシミュレーション		●世界初のＴＶゲーム「ポン」アメリカで誕生
1973	●ダックス ●モノサイクル（新） ●フォーミュラX ●カードダービー		
1974	●フルフェイスマジンガーZ ●アヒル ●フルフェイス聖徳太子 ●ピッコロピッコロ ●パンフレットロボット ●フルフェイス天才バカボン		

年	製品名	ビデオゲーム	業界の主な動き
1974	●スワン　●ヒヨコ ●スポーツカー　●ささぶねパンダ ●電話ロボット　●フルフェイスマイハニー		
1975	●海賊島トレジャーランド　●ジャンボロボコン ●アンドロイドピエロ　●ヒューマノイド ●リンカーン　●スタンプロボット ●スタンプパンダ		
1976	●ロボコンエース　●Ｆ－１		
1977	●シュータウェイ　●Ｆ－１マッハ		
1978	●ロボットサーカス　●スペースシャトルＮ－７ ●ナムコンII　●サブマリン　●クレイチャンプ	AC:ジービー	●ナムコ初のアーケード ビデオゲーム（表内でAC）発売
1979	●シャーマンＸ　●カールおじさん ●ゼロイン　●ピッチイン	AC:ボムビー、ギャラクシアン、 キューティーQ	●インベーダーゲームブーム
1980	●アトマI・II・III ●マクセルくん　●ニャームコ ●ジャンボドラえもん ●バッティングチャンス	AC:パックマンなど４本	
1981	●さんすう道場　●ムーンチャイルド ●ノボット　●ラルゴ　●ピュータン ●ロボットシアター　●サンダユウ　●マッピー ●Ｄｒ.スランプアラレちゃん　●ノックダウン ●おかし大作戦　●ドラえもんタイムマシン	AC:ギャラガ、ラリーX、ボスコニアンなど５本	●「ラジアメ」放送開始
1982	●スタンプキティ　●ハローキティマイボート ●ハローキティマイスクール ●バーディーパット ●ハローキティマイバルーン	AC:ディグダグ、ポールポジション、 スーパーパックマン	
1983	●コスモ星丸　●ホットボールホッケー ●Ｍｒ.プロレス	AC:ゼビウス、マッピー、リブルラブルなど６本	●ナムコ情報誌「ＮＧ」創刊 ●ファミリーコンピュータ （以下表内でＦＣ）発売
1984	●ピクパク　●お絵描きロボット ●パンフレットロボット（新） ●コスモスワット　●一打逆転	AC:ギャプラス、ドルアーガの塔、 パックランド、グロブダー FC：ギャラクシアンなど４本 MSX:パックマンなど10本	●ガンダムの大河原邦男氏、 ＹＭＯの細野晴臣氏らが ナムコを訪れる
1985	●パンフレットこぞう　●ビニロボ	AC:ドラゴンバスター、メトロクロス、バラデュークなど７本	●科学万博つくば'85開催

年	製品名	ビデオゲーム	業界の主な動き
1985	●ポカスカ探検隊	FC:ドルアーガの塔など８本 MSX:ミニゴルフ	
1986	●ロボサッカー ●スウィートランド	AC:トイポップ、サンダーセプター、 源平討魔伝など７本 FC:プロ野球ファミリースタジアム、 ワルキューレの冒険など10本 MSX:ザ タワー オブ ドルアーガ	
1987	●おかしのきしゃ　●パンダのトラック ●ワギャン　●ナキゴエアテルくん ●カーニバルI　●功夫老師 ●カーニバルIIスーパーゼビウス ●おっきなゾウさん	AC:ワンダーモモ、ドラゴンスピリット、 ファイナルラップなど８本 FC:さんまの名探偵、 ドラゴンバスターなど14本 MSX:ドラゴンバスター	●ＰＣエンジン （以下表内でＰＣＥ）発売 ●ナムコットカレンダー通販
1988	●カーニバルII妖怪道中記 ●カーニバルIIIファミリースタジアム ●ポルシェＮ　●動物園　●ハッピーデート ●おっきなショベルカー　●たくはいバン ●カプセルゴルフ　●テンカウント	AC:超絶倫人ベラボーマン、メルヘンメイズ、 メタルホークなど11本 FC:貝獣物語、カイの冒険など12本 MSX:ザ リターン オブ イシターなど３本 PCE:ドラゴンスピリットなど５本	●メガドライブ （以下表内でＭＤ）発売 ●映画「未来忍者」公開
1989	●ブラックホール　●ワニワニパニック ●ビッグフット　●ポニードリル ●バーガーショップ ●ラッコちゃんのおやつだ～いすき ●カーニバルIVワルキューレの冒険 ●ひつじちゃんのドキドキピクニック ●カーニバルVウイニングラン ●カプセルサッカー	AC:フェリオス、ウイニングラン、 ワルキューレの伝説など12本 FC:ワギャンランド、 マインドシーカーなど17本 PCE:ファイナルラップツイン、 ワンダーモモなど４本 MSX:パックマニアなど３本	●ゲームボーイ （以下表内でＧＢ）発売 ●「ＮＧ」隔月刊化
1990	●アイスクリームやさん ●ワニワニパニックスペシャル ●パンやさん　●コズモギャングズ ●おっきなフォークリフト ●八卦方士	AC:マーベルランド、ギャラクシアン３、 ドラゴンセイバーなど8本 FC:ワギャンランド２など４本 PCE:超絶倫人ベラボーマン、 ワルキューレの伝説、 源平討魔伝など8本 MD:バーニングフォース、 フェリオスなど８本 GB:パックマン、ファミスタ MSX:バルンバなど３本	●スーパーファミコン （以下表内でＳＦＣ）発売 ●ゲームギア （以下表内でＧＧ）発売 ●国際花と緑の博覧会開催 （ナムコはアミューズメント施設を出展）
1991	●ワニワニパニックグランプリ ●ニュースウィートランド ●ちびまる子ちゃんえんそくバス ●ちびまる子ちゃんみんなあそぼう	AC:ドライバーズアイ、スティールガンナー、 ソルバルゥなど8本 FC:じゅうべいくえすとなど６本 PCE:ドラゴンセイバーなど５本	●「ナムコワンダーエッグ」 東京・二子多摩川園にオープン

年	製品名	ビデオゲーム	業界の主な動き
1991	●カーニバルVIワニワニパニック ●カーニバルワゴンナイスオンシェフ ●カーニバルワゴンラッキーモンキー ●ブルちゃんのもっとたべたいワン！ ●ゴーリーゴースト　●ノックダウン'90 ●ショーレビュー ●カーニバルワゴンウェイブボール	MD:レッスルボール、 マーベルランドなど６本 SFC:スーパーワギャンランド GB:ファミリージョッキー、 ナムコクラシック GG:ギアスタジアムなど５本	
1992	●コズモポリスアンタッチャ ●パラパラボックスおぼっちゃまくん ●パラパラボックストップストライカー ●パラパラボックス丸出だめ夫 ●パラパラボックスチロリン村物語 ●カーニバルワゴンハートリングハート ●パラパラボックスおれは直角 ●ボールバズーカシャーク船長を倒せ ●アドベンチャーシアターシステム ●バブルトラブル　●カニカニパニック ●シュータウェイII　●ボタン早押し選手権 ●スウィートファクトリー	AC:コズモギャング ザ ビデオ、F/A、 エクスバニアなど９本 FC:ワギャンランド３など６本 PCE:源平討魔伝　弐の巻など３本 MD:スプラッターハウスパート２、 ちびまる子ちゃんわくわくショッピング SFC:スーパーファミスタなど５本 GB:バーコードボーイセットなど５本 GG:ポケット麻雀	
1993	●ジャスト７　●ドリフトキング ●ダンク＆ダンク　●ボールポーカー ●フットボール　●ゾンビキャッスル ●うて！ うて!! ゴジラ	AC:エアーコンバット、ニューマンアスレチック、 リッジレーサーなど12本 FC:ファミスタ'94 MD:スプラッターハウスパート３、 ボールジャックス SFC:Ｊリーグサッカープライムゴール、 スズカエイトアワーズなど８本 GB：バーコードサーガなど５本	●「たまご帝国」 ワンダーエッグに併設
1994	●ＸーＤＡＹ ●ニューシュータウェイIIラピッドファイア ●ニュースウィートファクトリー ●ピッチイン２剛球伝説 ●ゴジラウォーズ　●サメサメパニック ●ドドンガドン　●スウィートランド２ ●モスキートアタック　●激突ゴジラVSキングギドラ	AC:ティンクルビット、ネビュラスレイ、 鉄拳など12本 SFC：ザ ブルークリスタルロッドなど PS:リッジレーサー	●セガサターン発売 ●プレイステーション （表内でPS）発売
1995	●たこいかぱにっく　●ＸーＤＡＹ２ ●キャッチンガーＺ　●パンチンパイレーツ ●たたかえ! メカゴジラ　●デンジャラスバー ●空気早入れ選手権　●ジャンボゴジラ	AC:鉄拳２、レイブレーサーなど９本 PS:鉄拳、エースコンバットなど	

エレメカするならこのお店

マップつき ㊔エレメカ稼働店リスト

'96年4月現在

全国のナムコ直営アミューズメント施設から、北から順に特に30店を厳選して紹介しよう。リスト内の丸数字は、ＣＤ収録番号。マップの数字はリストの店番号に対応しているぞ。

1　プレイシティキャロット札幌ファクトリーナムコランド
〒060　北海道札幌市中央区北１条東４-１
札幌ファクトリー１条館内
※⑦⑪ノックダウン、キャッチンガーＺなど10機種

2　松木屋
〒030　青森県青森市新町２-８-１　松木屋内
※④⑦⑫など10機種

3　ダイエー酒田店
〒998　山形県酒田市幸町２-11-１　ダイエー酒田店内
※④⑦⑫⑰⑱㉑㉔など18機種

4　プリッズ仙台店
〒980　宮城県仙台市青葉区中央１-２-３
※⑦㉒㉔など９機種

5　伊勢崎ナムコランド
〒372　群馬県伊勢崎市宮子町122-２
※⑧⑪⑱⑲⑳㉔㉕㉖など23機種

6　ビッグキャロットＳＳＣ
〒359　埼玉県所沢市南永井1116　埼玉スポーツセンター内
※⑦⑪⑳など11機種

7　千葉三越
〒260　千葉県千葉市中央区富士見２-６-１　千葉三越屋上
※⑦⑨⑪⑮⑰㉑㉔㉗㉘など24機種

8　ワンダーエッグ　サイヴァーステーション
〒158　東京都世田谷区玉川１-15　二子玉川タイムスパーク内
※⑦⑧⑪⑬⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔など24機種

9　聖蹟桜ヶ丘ナムコランド
〒206　東京都多摩市関戸１-11-１
京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングデパートＡ館7F, RF
※⑦⑧⑪⑮⑰㉒㉓㉔㉘など21機種

10　ナムコワンダーパーク相模原
〒229　神奈川県相模原市古淵２-10-１
ジャスコスポーツ棟1F
※⑪⑫⑮⑳㉑㉒など23機種

11　ダイクマ大和店ファミリータウン
〒242　神奈川県大和市深見台１-１　ダイクマ大和店内
※⑦⑧⑪⑱㉑㉔㉕㉖㉗など20機種

12　軽井沢スケートセンター
〒389-01　長野県北佐久郡軽井沢町大字長倉2139
軽井沢スケートセンター内
※④⑦⑪⑬⑯⑰⑲㉑㉒㉔㉗など23機種

13　岡島甲府店
〒400　山梨県甲府市丸の内１-21-15　岡島甲府店内
※⑨⑬⑮⑰⑱㉓㉔㉖など22機種

14　ダイヤモンドシティ
〒451　愛知県名古屋市西区香呑町６-56
ダイヤモンドシティ内
※⑦⑪⑫⑬⑮㉑㉒㉔㉗など16機種

15　プレイシティキャロット大垣店
〒503　岐阜県大垣市鶴見町字長沢浦411番地の８外
※④⑦⑧⑪⑬など12機種

16　平和堂　石山店
〒520　滋賀県大津市松原町13番15号　平和堂石山店５階
※⑦⑧⑪⑫⑰㉑など16機種

17　プラボ枚方店
〒573　大阪府枚方市宮之阪４-28-12　ペルパルレ内
※⑧⑯㉔など12機種

18　サティ小野店
〒675-13　兵庫県小野市王子町868-１
サティ小野店３階ファンタジーパーク
※②⑦⑪⑫⑰㉑㉓㉔㉕など21機種

19　西武つかしん店
〒661　兵庫県尼崎市塚口本町４-８-１
西武百貨店つかしん店屋上プレイポート内
※⑦⑧⑬⑮⑯⑰⑱⑲㉑㉓㉔㉕㉖㉘など31機種

20　米子サティ
〒683　鳥取県米子市米原２-１-１　米子サティ内
※④⑦⑧⑨⑪⑬⑰㉔など18機種

21　フジグラン広島店
〒730　広島県広島市中区宝町２-１　フジグラン広島店内
※⑨デンジャラスバー

22　プラボ福山店
〒721　広島県福山市南蔵王町５-270
※④⑦⑧⑫⑯⑰㉒㉔㉕など16機種

23　ニチイ防府店
〒747　山口県防府市中央町１-３　ニチイ防府店内
※⑦⑪⑮⑯⑱⑳㉔㉕㉗など20機種

24　フジグラン川之江店
〒799-01　愛媛県川之江市妻鳥町1136-１
※⑦⑨⑪⑫⑱⑲㉒㉕㉗など16機種

25　黒崎そごう店
〒806　福岡県北九州市八幡西区黒崎１-１-１
黒崎そごう内
※④⑦⑪⑫⑮⑱⑲㉔㉗など21機種

26　大津ショッピングプラザアーク
〒869-12　熊本県菊池郡大津町大字室137 大津ショッピングプラザアーク内
※④⑧⑬㉑㉘など12機種

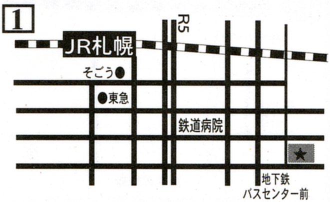
27　ニコニコ堂鏡店
〒869-42　熊本県八代郡鏡町上鏡西浜舞田1128-１
ニコニコ堂鏡店内
※⑦⑪㉑㉔㉕㉖など10機種

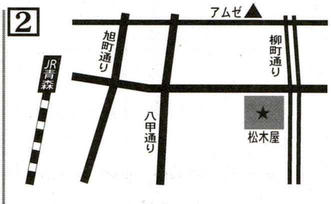
28　宮崎山形屋店
〒880　宮崎県宮崎市橘通り東３-４-12　宮崎山形屋内
※⑦⑪⑫ ㉒ノックダウン、空気早入れ選手権

29　タイヨー草牟田店
〒890　鹿児島県鹿児島市草牟田２-19-22
タイヨー草牟田店内
※④⑨⑪⑬⑱カプセルサッカー

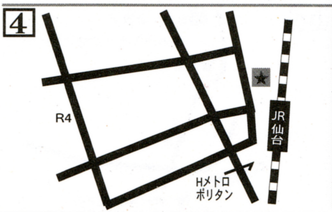
30　ショッピングプラザ　マルキヨ
〒901-22　沖縄県宜野湾市愛知229
ショッピングプラザ　マルキヨ
※④⑦⑧⑬⑰⑲など13機種

お店までのマップだぞっ！





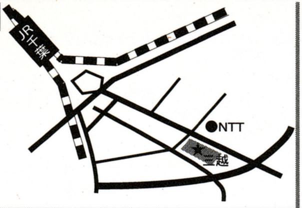




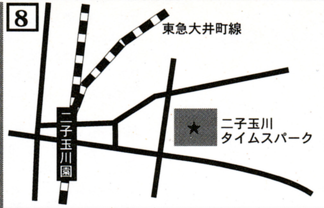




7



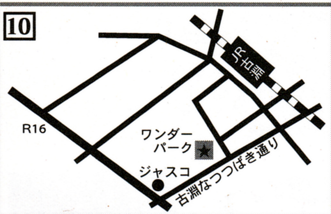
8



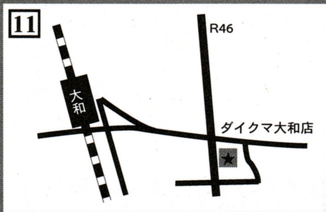
9



10



11



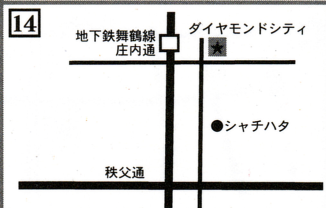
12



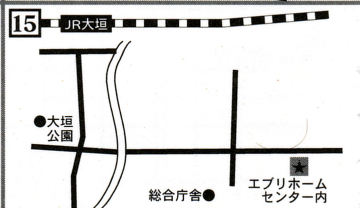
13



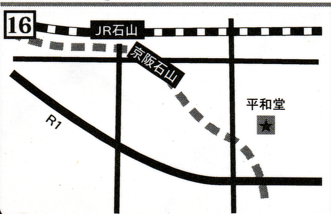
14



15



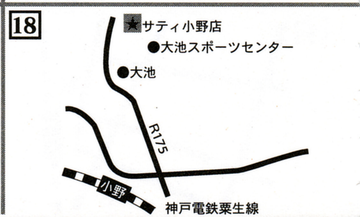
16

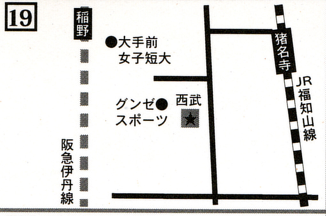


17

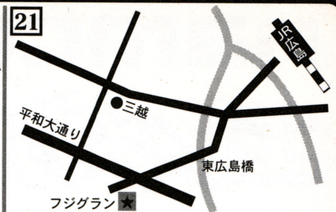


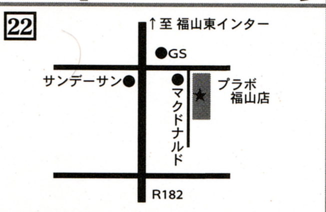
18

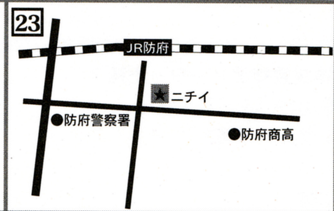


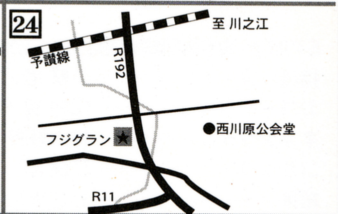

19
稲野
大手前女子短大
猪名寺
JR福知山線
グンゼスポーツ
西武
阪急伊丹線

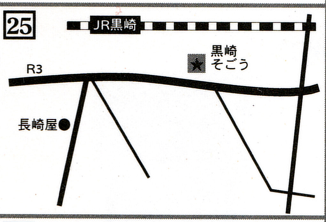

20
サティ
JR後藤
JR車輌所
R9
R181
至 米子

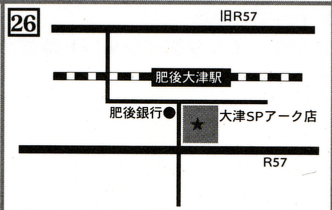

21
JR広島
三越
平和大通り
東広島橋
フジグラン

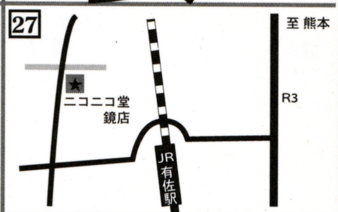

22
↑至 福山東インター
GS
サンデーサン
マクドナルド
プラボ福山店
R182

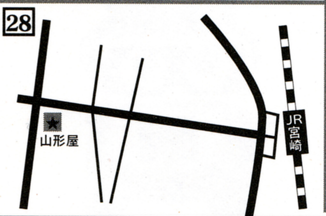

23
JR防府
ニチイ
防府警察署
防府商高

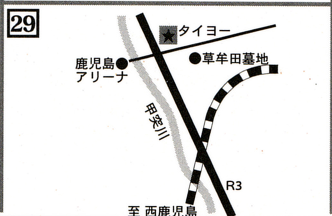

24
至 川之江
予讃線
R192
西川原公会堂
フジグラン
R11

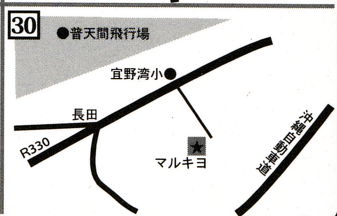

25
JR黒崎
黒崎そごう
R3
長崎屋


26
旧R57
肥後大津駅
肥後銀行
大津SPアーク店
R57


27
至 熊本
ニコニコ堂鏡店
R3
JR有佐駅


28
JR宮崎
山形屋


29
タイヨー
鹿児島アリーナ
草牟田墓地
甲突川
R3
至 西鹿児島


30
普天間飛行場
宜野湾小
長田
R330
マルキヨ
沖縄自動車道

namco®

エレメカ大百科

STAFF

構成・文・——山崎 拓（株式会社ティーツー出版）

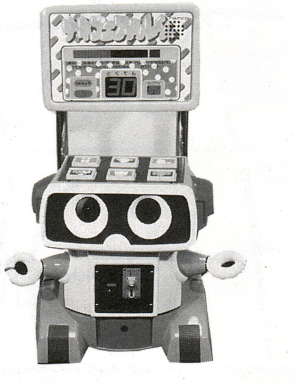
カバーデザイン・——田村 宏（SAKANA STUDiO）

本文デザイン・——竹内好和（グループ巧）

コミック・——江頭 剛

編集・——ねこまた工房
株式会社ティーツー出版

協力・——加藤 智（ビクターエンタテインメント株式会社）
株式会社ナムコ



ナムコ 魂を揺さぶるエレメカサウンド大集合!!

★これがエレメカだ!(全28機種大公開)
★エレメカのすべて(開発スタッフコメントつき)
★エレメカデータ館

●エレメカ全リスト
●歴史年表
●エレメカ活動地図







Victor
VICL-40191
ビクターエンタテインメント株式会社